

(様式1)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者プログラム）申請書
申請の概要

1. 申請取組

- ※ イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。
また、申請書の作成に当たって、本様式に示される表の行の高さは記述量に応じて適宜変更することができますが、極力、列の幅の変更はしないでください。

コンソーシアムの名称 (20 字程度)	※コンソーシアムの名称を記載してください。コンソーシアムとしての目標を示す提案のタイトルを記載してください。
代表機関名 総括責任者名	※代表機関の長（学長、理事長、機構長等）が、総括責任者として申請を行ってください。
共同実施機関名	※共同申請する機関名を記述してください。
連携機関	〇〇大学、〇〇株式会社
実施予定期間	平成 27 年度～平成 34 年度 ※事業計画は 8 年間とし、うち原則として 5 年間（平成 27 年度～平成 31 年度）について補助します。ただし、特に優れた成果をあげているものについては、改めて審査・評価の上、一定期間（例えば 3 年間）の延長があります。 ※初年度は、取組の選定以降の実施となります。
実施予定所要額	平成 27 年度：経費総額〇百万円（うち自己負担額 〇百万円） 平成 28 年度：経費総額〇百万円（うち自己負担額 〇百万円） 平成 29 年度：経費総額〇百万円（うち自己負担額 〇百万円） 平成 30 年度：経費総額〇百万円（うち自己負担額 〇百万円） 平成 31 年度：経費総額〇百万円（うち自己負担額 〇百万円） 平成 32 年度：経費総額〇百万円（自己負担額） 平成 33 年度：経費総額〇百万円（自己負担額） 平成 34 年度：経費総額〇百万円（自己負担額） 総 額：経費総額〇百万円（うち自己負担額 〇百万円） ※様式 3 から転記してください。
取組の概要 (400 字以内)	※本事業により実施する取組の概要を 400 字以内で記載してください。

(代表機関名：

)

2. 代表機関（総括責任者）

総括責任者	ふりがな氏名			
	研究者番号			
	所属機関名			
	役職名			
当該取組における機関全体の実施責任者	ふりがな氏名			
	研究者番号			
	役職名			
当該取組における機関全体の事務連絡担当者 <small>（当該担当者に審査結果等すべての連絡を行います）</small>	ふりがな担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		
機関における経理管理責任者	ふりがな担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
当該取組における機関全体の経理管理担当者	ふりがな担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
E-mail:				

(代表機関名：)

共同実施機関-# (機関名 : _____)

当該取組における機関全体の実施責任者	ふりがな 氏 名			
	研究者番号			
	所属機関名			
	役 職 名			
当該取組における事務連絡担当者 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事 務 連 絡 先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		
所属組織・部署名				
当該取組における経理管理担当者	ふりがな 担当者名		役職名	
	事 務 連 絡 先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		

※ 共同実施機関数に応じ、本ページを追加し、「共同実施機関-#」の#部分に1、2、3、…と記載し、各機関について本表を作成してください。

(代表機関名 : _____)

3. 運営協議会の設置場所

設置場所	※運営協議会を設置する機関名を記述してください。
所在地	
運営協議会の責任者名	
設置理由	※上記場所に設置する理由について簡潔に記載してください。

(代表機関名 :

)

(様式2)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者プログラム）申請書
取組内容・詳細

○代表機関名 「
○コンソーシアム名 「
(実施予定期間：平成27年度～平成34年度)

(1) 本事業の目的とコンソーシアムの構想

※本事業の目的とコンソーシアムの構想の内容を以下の項目に沿って記載してください。

※必ず項目毎に記載し、項目の追加、削除は行わないでください。

※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

①コンソーシアムとしての人材育成策の方針と理念

※本取組で育成を目指す人材像について、現状と解決すべき課題及びその改善策を含め記載してください。

②コンソーシアムの構想

※本取組で構築を目指すコンソーシアムについて、計画・構成・規模、連携のあり方、流動性の確保と安定的な雇用確保の仕組みを含め具体的に記載してください。

※別途、コンソーシアムの概念図を添付してください。

(代表機関名：)

③目標、改善方法

※本取組によって取組終了時及び補助事業期間終了時に達成しようとする状態を目標（定性的なものを含む。複数可）として設定してください。

※目標達成に向けて取組状況を確認・検証し、制度・システムの適切な改善に結びつけるための方法について具体的に記載してください。

④申請機関（代表機関及び共同実施機関）におけるこれまでの取組とコンソーシアム構築の効果

※申請機関（代表機関及び共同実施機関）がこれまで行ってきた人材育成の取組の強みや特色と、コンソーシアムを構築することにより得られる効果について具体的に記載してください。

⑤外部機関との連携

※本取組を行う際の外部機関との連携について、具体的に記載してください。

※外部機関とは、申請機関（代表機関及び共同実施機関）以外の大学、研究機関、民間企業、海外の大学、研究機関、民間企業等を指し、連携するそれぞれの外部機関については、どのような連携を行うのか具体的に記載してください。

⑥取組の発展性

※本取組の波及効果について具体的に記載してください。

(2) 次世代研究者育成プログラムの内容

【次世代研究者の育成】

※本取組で実施する次世代研究者の育成のための取組内容について、育成する研究者像や育成方針、自立的な研究環境の整備状況や研究者としてのキャリアアップを図る取組、流動性を妨げない雇用形態と業績評価を踏まえた処遇反映の仕組み、これらを実施するための連携のあり方を含め、具体的に記載してください。

※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

【イノベーション創出人材の育成】

※本取組で実施するイノベーション創出人材の育成のための取組内容について、多様なキャリアパス確保の支援や意識改革を促進する取組、企業や社会のニーズを積極的に取り入れる仕組みとそれらを反映した養成プログラムの構築、新たなキャリアパス開拓や企業等就職者数の拡大に資する取組、これらを実施する連携のあり方を含め、具体的に記載してください。

※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

(3) 運営協議会の運営体制

※コンソーシアムに置かれる運営協議会について、運営協議会の組織形態や責任体制、公募要領に記載された機能をどのように整備・運営し、実効性を持たせるのかを含め、具体的に記載してください。※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

(代表機関名 :

)

(4) 事業実施計画

※事業実施期間中の年度ごとの事業実施計画について、資金規模と取組内容のバランスや実現可能な規模・内容となっているかを確認できるよう、研究者等の募集人数、募集時期、組織の整備時期を含め、具体的に記載してください。

平成27年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成28年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成29年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成30年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成31年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成32年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成33年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

平成34年度：

【次世代研究者の育成】

【イノベーション創出人材の育成】

(5) 補助事業期間終了後の継続性

※補助金による支援が終わった後も、本取組を継続するための施策について金銭的、人的な継続性、制度面の継続性等の観点も含め、具体的に記載してください。

※1枚以内で記載してください。

(様式3)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者プログラム）申請書
所要経費の見込額

○代表機関名 「
○コンソーシアム名 「
(実施予定期間：平成27年度～平成34年度)

1. 所要見込額（全体計画） (機関全体の合計額を記入) (円)

年 度	27年度 (1年度目)	28年度 (2年度目)	29年度 (3年度目)	30年度 (4年度目)	31年度 (5年度目)	合計金額 (5年間)
所要見込額						
補助金額						
自己負担額						
設備備品費						
補助金額						
自己負担額						
人件費						
補助金額						
自己負担額						
事業実施費						
補助金額						
自己負担額						

(円)

年 度	32年度 (6年度目)	33年度 (7年度目)	34年度 (8年度目)	合計金額 (3年間)
所要見込額				
自己負担額				
設備備品費				
自己負担額				
人件費				
自己負担額				
事業実施費				
自己負担額				

注) 上記記載の金額は、あくまで計画であり、毎年度交付される補助金額を担保するものではありません。また、平成28年度以降の補助金については、財政事情等により減額する場合があります。

(代表機関名：)

2. 平成27年度所要見込額の内訳 (実施機関それぞれについて作成してください。)

機関名： _____

所要見込額		所要見込額の内訳	
		補助金額	自己負担額
A (円)		B (円)	A - B (円)
経費の内容	金額 (円)	積算内訳 (円)	
設備備品費		※ 記入例 【次世代研究者の育成実施分】 ・〇〇システム一式 〇円	
人件費		※ 記入例 【運営協議会経費分：代表機関のみ】 ・プログラムマネージャー等 〇人×〇円×〇月=〇円 【次世代研究者の育成実施分】 ・若手研究者 〇人×〇円×〇月=〇円 ・研究支援人材 〇人×〇円×〇月=〇円 【イノベーション創出人材の育成実施分】 ・ポストドクター 〇人×〇円×〇月=〇円	
事業実施費 (消耗品費) (国内旅費) (外国旅費) (外国人等 招へい旅費) (諸謝金) (会議費) (通信運搬費) (印刷製本費) (借損料) (雑役務費) (光熱水費)		※ 記入例 【運営協議会経費分】 ※運営協議会機能維持に係る最低限の経費とします。 〈消耗品〉 消耗品一式 〇円 〈諸謝金〉 選考委員会謝金 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈会議費〉 選考委員会 飲食物等 〇人×〇円=〇円 ※会議で供給する飲食物等は、各機関の規程等に従い必要最低限のもの とします。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。 〈通信運搬費〉 インターネット利用料 〇ヶ月×〇円 〈借損料〉 コンピュータ借料 〇円×〇台=〇円 〈雑役務費〉 公募広告費 〇円×〇件=〇円 〈光熱水費〉 電気料金 〇ヶ月×〇円=〇円 【コンソーシアム全体で共同して実施する取組の経費分】 〈消耗品〉 消耗品一式 〇円 〈諸謝金〉 シンポジウム謝金 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈会議費〉 シンポジウム 飲食物等 〇人×〇円=〇円	

(代表機関名： _____)

		<p>【次世代研究者の育成実施分】 <消耗品> 消耗品一式 ○円 <国内旅費> ○○学会 ○人×○円 (○○県) =○円 <外国旅費> ○○国際学会 ○人×○円 (○○国) =○円 <外国人等招へい旅費> 共同研究打ち合わせ ○人×○円 (○○国) =○円 <会議費> 研究打ち合わせ 飲食物等 ○人×○円=○円 <印刷製本費> 論文印刷 ○円×○部=○円 <借損料> コンピュータ借料 ○円×○台=○円 <光熱水費> 電気料金 ○ヶ月×○円=○円</p> <p>【イノベーション創出人材の育成実施分】 <消耗品> 消耗品一式 ○円 <国内旅費> インターンシップ ○人×○円 (○○県) =○円</p>
合計金額	A	(※うち自己負担額の合計 ○円)

- 注1) 自己負担額がある場合には、「積算内訳」欄に※印を付し、自己負担額を () 書き
してください。
- 2) 所要経費については、公募要領の別表を参考にして経費別に見込み額を記入してく
ださい。
- 3) 補助金を除く申請内容の実施に必要な経費は、審査の対象とします。

(代表機関名:)